

AVERAGE関数

内容

- AVERAGE関数の役割
- AVERAGE関数の構造、使い方
- 問題演習

AVERAGE関数の役割

AVERAGE関数の役割

AVERAGE関数は、引数として指定した値の**平均値**を返してくれる関数

	A
1	=AVERAGE(1,2,3)



	A
1	2

AVERAEG関数の 構造・使い方

AVERAGE関数の構造・使い方

AVERAGE関数の基本構造

=AVERAGE (引数)

引数に平均したい値を指定
→ 平均値が返ってくる

AVERAGE関数の構造・使い方

AVERAGE関数の使用例

=AVERAGE (1,2,3)

=AVERAGE (A1:A5)

問題演習